

\*月例経済報告（平成 25 年 2 月）が公表されましたので、次の個所を変更します。

平成 25 年 2 月 28 日

## 経済動向

### 総論（我が国経済の基調判断）

景気は、一部に弱さが残るものの、下げ止まっている。

- ・輸出は、このところ緩やかに減少している。生産は、下げ止まっている。
- ・企業収益は、大企業を中心に下げ止まりの兆しがみられる。設備投資は、弱い動きとなっている。
- ・企業の業況判断は、改善の動きがみられる。
- ・雇用情勢は、依然として厳しさが残るなかで、このところ改善の動きに足踏みがみられる。
- ・個人消費は、底堅く推移している。
- ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、雇用・所得環境の先行き等にも注意が必要である。

（資料出所：25.2.27 内閣府「月例経済報告」）下線部は、先月から変更した部分